

# 礼文町立香深中学校 家庭学習の手引



## もくじ

1. なぜ「学習」するの？
  2. 「家庭学習」の目標
  3. 「家庭学習」で大切なこと
  4. 「家庭学習」の方法
  5. 家庭学習の内容
- 各教科の家庭学習例

# 香深中学校 家庭学習の手引

## 1. なぜ「学習」するの？

なぜ勉強しなければいけないの？そう感じたことのある人はたくさんいるはず。どうして中学生は、学習するのでしょうか。

行きたい高校があるから？就きたい職業や叶えたい夢があるから？良い成績をとりたいから？知らなかったことを知ること自体が楽しいから？きっと人それぞれ思いはあると思います。

大切なのは、**なぜ「学習」をするのか、自分なりの答えを持つこと**です。大きな夢でも小さな目標でも構いません。自分が「学習」する理由を考えてみましょう。

## 2. 「家庭学習」の目標

### ①今日はみんなで明日には一人で

「学習する」とは、「今日はみんなで、明日には一人でできるように努力する」ことです。授業では、先生が教えてくれたり、仲間と協力したりして何かができるようになることが目標です。そして、家に帰ってからは、**その日の授業の内容を自分一人の力でできるようにすること**を目標にしてください。このように、「学校での学習」と「家での学習」につながりを持たせることで、勉強した内容がどんどん自分の力になっていきます。

### ②学習の段階

勉強した内容を自分の力にするためには3つの段階があります。

#### ●学習の段階

ステップ1	『じっくり理解』段階	授業の内容を振り返り、理解し直す段階。
ステップ2	『自分で解ける』段階	問題を自分の力で解くことのできる段階。
ステップ3	『ひらめき』段階	問題を見てすぐに答えや解き方がひらめく段階。

家庭学習では、**ステップ3まで**できるようになることが目標になります。

### ③「わかった！理解した！」

勉強がわかる・理解できるというのは、単に問題が解けるということだけではありません。どのように解いたかなどを他の人に説明できてはじめて自分のものになります。家庭学習の際も、**他の人に説明するつもりで**進めていきましょう。

## 3. 「家庭学習」で大切なこと

### ①自らの意志で

先生や家の人から言われるのではなく、**自分の意志**で学習を進めます。

今後の予定や忙しさのことも考えて、見通しを持って計画的に学習していきましょう。

### ②自ら課題設定を

自分の得意・不得意を分析し、その日に行う教科や課題（目標）を**自分で設定**します。

### ③自ら学習方法の選択を

自分で設定した課題（目標）に対して、適切な学習の方法を**自分で選択**します。

## 4. 「家庭学習」の方法

自分が行う学習に応じて課題を設定し、必要な学習方法を下の表を参考に選択しましょう。

### ●学習の課題と方法

課題	学習方法	学習方法の例	良い所と悪い所
『じっくり理解』 を目指して	『トレーニング型』 学習	・ノートにまとめる ・練習問題を解く など	○理解が進み、自分の考えが持てる。 ×問題を解くスピードが身につかないので、テストなどで時間が足りなくなる。
『自分で解ける』 を目指して			
『ひらめき』 を目指して	『ドリル型』 学習	・問題集やワークを繰り返し解く など	○問題を解くスピードが速くなる。 ×丸暗記になりがちなので、他の知識との結びつきに気付きにくい。

## 5. 「家庭学習」の内容

香深中学校における家庭学習時間の目安は1時間30分です。しかし、学年によってやるべき内容が異なります。したがって、時間だけにこだわらず、やるべき内容を確実に終わらせられるよう取り組みましょう。

礼文検定の学習にもコツコツと取り組むことが大切です。授業の予習・復習と両立させながら、計画的に勉強していきましょう。

### ●内容の目安

1・2年生	平日	その日の復習（次の日の予習）を中心に
	休日	その週の復習を中心に
	長期休暇	前の学期の復習を中心に
3年生	1・2年生の内容に加え、 ～夏休み前	1・2年生の総復習
	夏休み～	苦手分野の克服と受験対策

メモ

次ページからは、各教科の学習方法などを紹介します。

# 国語の学習について

## ○国語科のねらいや大切なこと

- (1) 自分のことを、**自分の思った通りに**相手に伝えられるようにする。
- (2) 相手の話を、**正しく受け止められる**ようにする。
- (3) 日本語に関わる文化や伝統を知り、それを大切にしようとする気持ちを育てる。

国語の授業で一番大切なのは、「**興味を持つこと**」です。教科書の内容はもちろん、一緒に授業をする仲間のこと、勉強を頑張っている自分の気持ちのことも、すべてに興味を持ってください。それを「**伝えたい!**」と思うのが、国語の始まりです。

## ○家庭学習の具体的な方法

### 【トレーニング型】

#### 物語、説明的な文章

→**知っている言葉を増やす**ことが大切です。教科書を読んで、意味が分からない言葉があったら、**タブレットや辞書を活用**して積極的に調べましょう。

#### 古文、漢文、詩

→**口に出して読み**ましょう。**教科書の内容**をスラスラと読めるようになれば、他の作品などにもその読み方が応用できるようになるはずです。

#### 漢字

→覚えられない漢字は、**タブレットなど**を活用して、その**成り立ちや使い方を調べて**みましょう。

### 【ワーク型】

#### (基礎的なステップ)

#### 物語、説明的な文章

→**解き方を理解する**ことが大切です。書き抜き問題の**解答の元になる描写**を見つけたり、記述問題の**文末表現**に注意したりして、得点力アップを目指しましょう。

#### 古文、漢文、詩、文法

→授業で習ったこと**の理解度を高め**ましょう。授業後とテスト前など、**時間を空けて繰り返し**取り組むと効果的。

#### 漢字

→まずは**礼検合格**を目標に、テキストを用いて勉強しましょう。漢字は、**書いて覚える**ことが何よりも大切です。

#### (発展的なステップ)

- 自分の答えや他の選択肢が正答ではない**根拠を説明**できる。
- 覚えた言葉や漢字の使い方を**自分で考える**ことができる。(作文、レポート、文学)

# 数学の学習について

## ○数学科のねらいや大切なこと

- (1) 物事を数学的に考えたり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける
- (2) 論理的に考察する力，物事から数量や図形などの性質を見いだして考察する力，物事を簡潔・明瞭・的確に表現する力をつける
- (3) 粘り強く考え，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする力をつける

## ○家庭学習の具体的な方法

### 【トレーニング型】

- ・日常の数字・数学に関心をもつ。  
(3分後の時刻，歩いている速さの感覚，おおよその数・量・長さ，物の値段など)
- ・教科書の大事だと思うところ（公式や性質，解き方，ポイントなど）に蛍光ペンで線をひく。
- ・章ごとに礼文検定を使って復習をする。

### 【ドリル型】

- ・積み重ねの教科なので，**学んだことをその日のうちに復習する。**
  - ① 解く  
礼文検定のテキスト問題や教科書，ワークを解く。**定着のため，必ず途中式をかく。**
  - ② 答え合わせ  
赤ペンで○×をつける。
  - ③ 確認  
どこを間違えたのかを考える。わからなかったら，**教科書やノートを調べたり，友達や先生に聞いたりして確認する。**（考えることが一番大事！！）
  - ④ 解き直し（定着）  
答えのページを閉じて，間違えた問題をもう一度解く。
  - ⑤ 答え合わせ  
青ペンで○×をつける。

# 「社会科」の学習について

## ○社会科のねらいや大切なこと

### ① 授業について

●社会は基本的には、「調べる」「作業する」「考える」「まとめる」ということを大切にしていきます。●

- ・「調べる」は、授業などで、教科書、資料集、地図、パソコンなどを使って調べます。
- ・「作業する」は、白地図に色をぬったり、「調べる」でやったことをプリントにまとめたりします。
- ・「考える」は「調べる」、「作業する」をもとにして、一人ひとり自分の意見を考えたり、グループで相談したりします。この「考える」はとても大切で、たとえ「正解」でなくても、しっかり考えて自分の考えを出せばいいです。
- ・「まとめる」は、授業で使ったプリントをもう一度ノートにまとめ直したり、レポートにまとめたりすることです。

### ② 家庭学習について

家での学習は「復習」が中心になります。じゃあ、どの様なことをしたらいいかは・・・

#### 【ドリル型】

① 学習したところをワークで解き直す。

(まずは自分の持っている家庭学習用ノートかワークの青い別の「自主学习ノート」にやってください。)

大きなテスト前は、特にワークをくり返しやってください。テストはワークをしっかりやってあれば解けるようになっています。

② ワークの答えから問題文を短くまとめて説明する。

(特にワークのまとめのページの答えから問題文を書く)

#### 【トレーニング型】

① 授業で使ったプリントを自分が持っているノートにまとめ直す。

※「社会」は、自分のノートをバッチリ作れば結構できるようになるかなと思います。

地理などは地図を描くといいです。工夫したノートを作り授業の次の日の朝に先生まで提出してください。

② 教科書を読んで自分の表現で短くまとめる。

(例えば、教科書2ページ文を50文字程度でまとめる。)

# 理科の学習について

## ○理科のねらいや大切なこと

理科という教科は「理科学語」が多いです。しかし、用語を覚えても内容をセッとして覚えなければ理科の力は身につけません。大事なことは、実験で“何でそうなるのか？”とか、“結果からどういう事が言えるのか”などを、自分で考え、自分の言葉で表現することです。

理科では様々な法則や公式などのルールがあります。そのルールは、多くの科学者が長い年月研究した結果、発見されたものばかりで、私たちが勝手に変えることはできません。ですので、その意味を正しく理解し、適切に活用しましょう。

## ○授業の進め方

1時間ごとに、課題があります。その課題に対して、できるかぎり観察や実験を行い、その結果から目標や課題を解決していきます。ただ、内容によっては、観察や実験ができないものもありますので、あらかじめお知らせしておきます。

## ○家庭学習の具体的な方法

授業→復習→ワーク（演習）というサイクルで、臨むとより定着することができます。次の日授業で行う場所をあらかじめ、目を通しておき、授業の中で疑問点やわからなかったところを解決し、その日のうちに復習するという流れを自分で作ることがより良い勉強方法だと思います。

まずは、ワークを教科書やノートで調べながら解きましょう。もし何も見ずに正解できたものがあれば、その問題について印をつけて、もう一度印がついていない問題を解きます。これをくり返していくといずれ、すべての問題に印がつき自分に力がついたことが一目でわかります。最後にテスト前などにもう一度振り返ると、なお Good です！！

学校のワークだけではなく、いろいろな問題集を解くことで、より力がつきますので、チャレンジしてみるのも良いでしょう。

### 【トレーニング型】

- 用語やその説明を正しい「理科学語」をつかってノートをまとめる。
- 数値やグラフ、結果を関連付けながら言語化し、表現する。
- テストの結果から得意な分野と苦手な分野を把握する。

### 【ドリル型】

- 一問一答形式で「理科学語」の確認。
- ワークの問題をわかるまで徹底的に解く。
- 理科学語の意味を実験結果や様子と関連付けて、正確に使用することができる。

# 英語の学習について

## ○英語科のねらいや大切なこと

「外国語（英語）で簡単な情報を理解したり、伝え合ったりする力を身につけるため」  
読む(Reading)、聞く (Listening)、話す(Speaking)、書く(Writing)の四つの力が大切！

## ○家庭学習の具体的な方法

### 【トレーニング型】

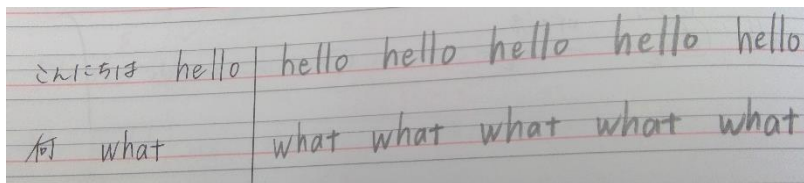
- 例：
- ・教科書本文を1文ずつ書いて訳す。
  - ・Unitごとに単語の意味をまとめる→その単語を使って例文を作る。
  - ・礼文検定の単語の練習をノートに書く。
    - ①何も見ないでノートに書く。
    - ②できなかったところをもう一度ノートに書く。
    - ③1週間後にまた何も見ないで書いてみる。  
→この繰り返しで書ける単語が増える！
  - ・教科書本文を声に出して読む。（読めなかった単語があれば学校で先生に聞けるよう、メモしておきましょう！）

### 【ドリル型】

- 例：
- ・礼文検定の単語以外の問題を繰り返しノートに解く
  - ・Qubenaの問題を解く！（一度解いて終わりではなく、すぐに間違った問題をもう一度解き直そう！）
  - ・本文を穴埋めにして自分で問題を作る。
  - ・長文問題で、回答の根拠を本文中から見つけられる。

## ○取り組みの例

- ・何度も書いて練習！（意味も覚えよう）



- ・オレンジ色のペンなどで書いて、赤シートで隠して覚える！

